

第74回中学校卒業式 式辞

校長 大岩 厚

校庭の桜のつぼみもずいぶん膨らみ、近づく春を感じさせます。

活水中学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、ここまでお子様を育てられた保護者並びに関係の皆様、心からお慶びを申し上げます。

振り返れば、昨年の学年末に全国一斉休校となり、それ以来、学校も社会も新型コロナウイルスに影響を受け続けた日々でした。しかし、そんな中でも、皆さんはできない事を嘆くのではなく、できる事に目を向け、何ができるのかをさぐりながら、友達とともに学校生活を送ってこられました。一人一人が努力してたくさんの思い出を作り、成長して今日を迎えられました。校長として、とても嬉しく思います。

皆さんは、今日で義務教育の学びを終えて新しい歩みを始めます。皆さんが歩む世の中は、急速に変化し、予測しにくいものになりつつあります。ですから、社会や技術、価値観や地球環境など、いろいろな変化に対応できる知識を身に付け、成功や失敗をしながら経験を積み、しなやかな心を持つことが大切になります。

今日の聖書の箇所（ヨハネ4:13-14）は、活水という学校の名前の由来になった箇所ですが、暑い昼下がり、虐げられた日々を過ごしていたサマリアの女性が、イエス様と対面し、直接に話をし、教えを受けました。そして、自ら望んで、『活ける水』つまり神様の愛を受ける選択をします。さらに、隣人（となりびと）と分かち合う人生を選んでいきます。

この女性は、イエス様の言葉を受け入れ、自分の人生を良い方向に変えていくことができるしなやかな心を持つ人でした。しなやかな心は折れません。神様の愛が、皆さんの心の中にあれば、試練を受け流し、心を支えてくださるからです。

神様から与えられたあなたの宝物はたくさんあるはず。一人一人が自分の宝物を見つけてください。そして、それが隣人のためになるのであれば分かち合ったり、隣人の宝も大切にしておあげてください。神様の愛に守られ、人との交わりを大切に、「わたし、輝く。ともに、輝く。」そのような人生を歩んでいただきたいと願っています。

卒業生の皆さんが、幸せな人生を歩むことができるよう、そして、皆さんにつながるすべての人の上に、神様の豊かな恵みがありますようお祈りして、校長の式辞といたします。

心に残るメッセージ 中学お別れ行事

3月1日（月）に全学年が集まって、生徒会役員の司会で3年生の卒業を祝うお別れ行事を行いました。まず1・2年生が、3年生にお花とメッセージカードのプレゼントを渡し、代表の生徒が3年生に感謝の言葉を伝え、「心の中にきらめいて」を合唱しました。その後、3年生一人ひとりが壇上からスピーチを行いました。体育大会や部活での後輩との思い出や3年間頑張ってきたこと、修学旅行での思い出を流暢に話す3年生に、1・2年生も懐かしい思い出とともに、先輩からのアドバイスに耳を傾けていました。感染症予防のため、例年のようなゲームはできませんでしたが、新しい形の心に残る会となりました。

（文責 浦島明子）



中学卒業式、保護者もともに

3月12日（金）、第74回中学校卒業式が、チャペルで行われました。十分な感染症対策のおかげで、卒業生、在校生、保護者がともに集い、式を行うことができました。

式は、フェスティバルマーチに合わせ、桜色のコサージュをつけた卒業生が入場、讃美歌を歌い、活水の校名由来の聖書が読まれ、祈りが捧げられる礼拝の形式で進みました。学級担任から名前が呼ばれて講壇に登り、一人ひとり、校長から卒業証書が手渡されました。

大岩校長の式辞の後、卒業生代表の鈴木彩水さんが、思い出深く充実した中学校生活を振り返りながら、先生やかかげのないクラスメート、そして両親への感謝を述べました。

保護者・ご家族の皆様には入場制限でご迷惑をおかけしましたが、ご協力いただきましたことを感謝いたします。

卒業生一人ひとりの前途に、心から祝福をお祈りします。（文責 石村直義）



感謝の辞（要約）

私達は今日、3年間の中学校生活を終えて卒業の日を迎えました。

この3年の間に、多くの行事を通していろいろなことを学ぶことができました。私達の学年から始まった「職場体験」。社会で働く厳しさや人との関わり方を学ぶことができました。沖縄への修学旅行。戦争によって幸せな暮らしが破壊されることの恐ろしさを学ぶことができました。放課後は、英語部で活動していました。先輩・後輩とたくさんお話をし、笑い合う時間が大好きでした。

私は、活水中学校に入学して本当に良かったと思います。このメンバーに出会えて幸せでした。私たちはいつもにぎやかで、笑い声が絶えませんでした。時には考え方の違いから衝突することもありましたが、私たちはいつも笑顔でした。一緒に泣いたり、相談にのってくれたりしたみんなと過ごすことができた3年間は、私にとって最高の宝物です。みんなありがとう。

在校生のみなさん、中学校生活はあっという間に過ぎていきます。だからこそ、仲間を大切に、活水で過ごす時間を大切に、残りの中学校生活を思い切り楽しんでください。

これまで熱心に私たちのことを指導してくださった先生方。学習面に限らず生活面でもたくさんサポートしていただきました。先生方のおかげで多くのことを学び、大きく成長することができました。本当にありがとうございました。

そして、これまで私たちを愛情を持って育ててくださった保護者の皆様。どんなときも私たちの味方でいてくれてとても心強かったです。本当にありがとうございました。

2021年3月12日 第74回卒業生代表 鈴木彩水



清水努さん



門田純先生



深江裕一郎先生



関きみ子先生



井上奈緒先生



涼松育子先生



法澤成典先生

I・II年生による演奏会

3月13日(土)チャペルにて「I・II年生による演奏会」が行われました。当日は保護者の皆様に鑑賞していただきました。消毒や検温などはレスナーの先生方に行っていました。

今年度は県の音楽コンクールがビデオ審査になり、例年では行われるはずのコンクールが沢山なくなってしまいました。人前で演奏することが極端に少なくなった今回、この貴重な演奏会に向け生徒たちは日々練習を重ねました。



演奏だけではなく、司会やピアノの開閉準備などの裏方作業も生徒たち自ら行うやり方は活水高校音楽コースの良き伝統です。

生徒たちはそれぞれ「緊張した」「演奏しているときは頭が真っ白だった」など各々感想を言っていました。今回の演奏を来年度の演奏会に生かしてもらいたいと思います。

来年度観客が入れるようになれば、在校生の皆さんや地域の方々にも是非聴きにきていただきたいと思っています。

(文責 杉町たまみ)

アンサンブル銀賞獲得

3月20日(土)メディキット宮崎で開催された「第44回全日本アンサンブルコンテスト」に九州代表として出場しました。「吹奏楽コンクール」「マーチングパレードコンクール」「アンサンブルコンテスト」は吹奏楽連盟三大大会です。吹奏楽とマーチングは全国大会出場を果たしていますが今回出場したアンサンブルは活水としては初めての出場でした。九州大会後は「九州の代表として恥じない演奏」をモットーに日々練習を重ねました。メンバーの中には3年生も含まれていたため、卒業後も春休み返上で練習しました。アンサンブルは指揮者はおらず自分達だけの演奏です。テンポや休符も自分たちの阿吽の呼吸が大切です。演奏を録音し、学年に関係なくお互い気が付いた事を意見として出し合いながら演奏を向上させていきました。



本番は、あの張り詰めたステージ上で生徒達は練習の成果を十分に発揮した演奏で、ステージから出てきた8人の顔は皆晴れ晴れしていました。

全国大会まで行かなければ経験できないこと、ここでしか見えない景色がたくさんあります。この経験を来年度も後輩達が引き継いでくれることと願っています。(文責 杉町たまみ)

2021年度 活水学院学院聖句について

「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮される。」

(コリントの信徒への手紙2 12章9節)

「神様の恵みはわたしに十分である」みなさんはそう思えますか。あの人には十分な才能や賜物が与えられているのに、わたしには少ししかない。そう思う人は、立ち止まって、神様に与えられている恵みを数えてみてください。今日も新しい命が与えられ、新しい朝が与えられる。多くの人との出会い、学びもある。

でも、つらい思いをして、その恵みすらわからなくなってしまふこともあるかもしれません。そんな時は、続きの言葉を読んでください。「力は弱さの中でこそ十分に発揮される」わたしたちの足りない部分、弱いところもみんな神様が受け入れてくださり、そこにこそ神様が働いてくれます。弱いから神様が助けてくれます。足りないから神様が満たしてくれます。それが神様の恵みなのです。自分で何でもできると思いあがってはいは、その恵みに気づくことができません。弱さの中で、神様に与えられた恵みに感謝しながら、新しい年度を歩んでいきましょう。(文責 三河悠希子)

楽しくサッカー部体験

3月13日(土)、本校グラウンドで サッカー部体験会が開かれました。ソフトテニス部員も加え、20名の参加者は、顧問の長門祐二先生の指導のもと、基礎練習から始め、最後はゲームを行って、大いに盛り上がりました。4月からの本格活動が楽しみです。



皆さんの入部をお待ちしています。

4月行事予定	
8(木)	始業式 新入生オリエンテーション
9(金)	入学式
12(月)	特別時間帯授業
13(火)	避難訓練
14(水)	通常授業開始
17(土)	特別進学クラス土曜課外授業開始
18(日)	教会出席日
20(火)	イースター礼拝
21(水)	高校部活動集会
23(金)	歯科検診①
28(水)	スタディサポート(高校)
30(金)	歯科検診② 身体測定 新体力テスト



日ごろの成果をプレゼンで 英語科第18期生発表会

3月6日(土)に本校チャペルで英語科発表会を行いました。これは第1期生から続けている英語科1年生による発表です。今年の生徒が選んだおもな内容は、スピーチでは部活動や祭り、海外の経験、将来の夢、英語の魅力、本との出会いについて、暗唱では「幸福の王子」や「賢者の贈り物」、国連でのジェンダーに関するスピーチ、プレゼンテーションでは北方領土問題や高齢化、LGBTについてでした。

2学期中に発表内容を決めて情報を集め、原稿を英語で書きました。暗唱をする生徒は原稿を細部まで読み込み、英語の表現力を磨きました。1月中旬からは、昼休みや放課後の時間に外国人の先生と1対1での練習を続け、当日は大変良い発表ができました。

(文責 吉田香奈子)



弓道部 全国私学大会で善戦

全国私立高等学校弓道記念大会 3/26~27、名古屋市
活水B(石栄瑞希、中村璃音、前田萌々花)ベスト16
活水A(大道寺姫歩、綾部みなみ、三浦愛梨)ベスト32
*両チームとも決勝トーナメント進出

長崎地区弓道選手権大会 女子団体
優勝:活水B(江里口和・中村璃音・前田萌々花)
3位:活水A(大道寺姫歩・綾部みなみ・三浦愛梨)

アーチェリー瀬川さん 全国大会に

JOCジュニアオリンピックカップ全国高校選抜大会
3/27、28 静岡県掛川市
女子個人戦 決勝 57位 瀬川藍瑠

バドミントン地区優勝

長崎市総合バドミントン選手権大会
高校生の部:ダブルス
優勝 松本颯季・野田ひかる組
準優勝 山口友理乃・山田悠佳組
第3位 金子愛奈・若杉花歌組

高山さん 長崎市スポーツ表彰

各種大会で活躍した選手7人に与えられる長崎市スポーツ賞を、今春卒業したチームライフル競技の高山真輝さんが受賞しました。授賞理由は昨年8月の全国高校ライフル射撃リモート大会での優勝でした。

